

聞思

今号の法語
人生における苦しきはすべて
如来の激励(はげまし)である
曾我堂深

発行所 光山寺
〒758-0063
萩市 大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
https://光山寺.net

ヨガ教室10月開講

この度、光山寺ヨガ教室(女性限定)を開催することになりました。左記の要項で本堂にて開催されますので、ふりつてお申込みください。

- * 開講日：十月九日(土曜日) 16:40~17:30
- * 会場：光山寺
- * 講師：齊藤佐絵子先生 (Yoga studio priya)
- * 月謝：4000円(月3回土曜日のレッスン)
- * 服装：運動しやすい服装
(裸足で行いますが、五本指ソックスも可)
- * 持参物：お念珠(お持ちの方)・ヨガマット
(バスタオルも可)・飲物

※10月は9日・23日・30日の開催
11月は6日・13日・20日の開催
12月は4日・11日・25日の開催

講師紹介：Yoga studio priya(萩市田町)にて、二十代、七十代まで多くの生徒さんにヨガを指導されています。また、サンライフ萩にてもレッスンを行っています。ただ、人気のため、両会場とも満席の状態です。

この度、光山寺にて、ヨガ教室を開講して頂くこととなりました！

やさしく、無理なく指導して下さるので、初心者でも安心して歩けるよう、今から自分の身体のケアをぜひ始めてみませんか。

問い合わせ申し込み先
光山寺 TEL22-1370まで



光山寺ホームページをリニューアル
この度、光山寺ホームページをリニューアルいたしました。これにより、ホームページのアドレスも変更となりましたので、お知らせいたします。https://光山寺.net となります。

光山寺の諸行事や行事カレンダーも表示されます。行事の日時の確認にご利用ください。Google(グ)利用の方は、予定を追加することも可能です。携帯電話からもアクセスできるようにしています。

また、実験的に法務問合わせなどのフォームも作成しています。まだまだ工事中の場所がありますが、今後は法要などの動画配信などの充実をはかしていきたいと考えています。是非ご利用ください。は幸い。尚、Googleの光山寺ビジネスサイト
(https://kousanji.business.site/) はGoogle(グ)の地図検索などで表示されるページです。看板的なサイトとなっています。



写経をお守り

秋季永代経法要では、初日は写経納経、二日目には共同無縁墓での読経を行っています。継続法要記念行事の一環としてはじまった「写経納進」は随時受け付けています。

中には「家では、ゆっくりと集中できない」「最近、出かける機会が減りなんだか張り合いがない」「お寺で写経した方が、お経を味わえそう」という声をききました。定期にお寺の庫裏を開放して、ゆっくりした時間を過ごしていただきながら、自由に写経できる「写経納進」の写経開放日時をもっています。次回は十一月十四日の午後二時からとなります。筆や墨などは用意しています。どうぞ手ぶらでお越しください。ご自身の筆を持参されても結構です。写経納進セット(写経用紙一部、写経解説図書)は代金五千円(懇志込)となります。

光山寺行事案内

関連行事には
カレンダーに◎印を！
令和三年度九月〜十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要関連

- 九月二七・二八日(月・火曜) 秋季永代経法要(講師、岡本達美師)
※御斎は簡易弁当持ち帰りとなります。詳細は寺院からのご案内をご確認ください。
- 十二月二八・二九日(日・月曜) 報恩講法要 (講師、桑羽隆慈師)

★山口教区・萩組関連

- 九月十九日(日曜) 第51回山口教区仏婦大会(山口別院) ※オンライン(QR)
- 十一月二五日(木曜) 山口別院にて帰敬式
- 十一月二六〜二八日(金〜日曜) 山口別院報恩講法要(山口別院) 講師 紫藤常昭師 ※萩組関係者参拝日は二七日

★子ども会(土曜学校) 関連

- ※現在 中断中
- 一月 未定日 ※子ども報恩講

★仏教青年会関連

- 十二月三一日(金曜) ※除夜会(富くじ抽選あり)

★仏教壮年会関連

- 十月二四日(日曜) 午後二時 グラウンドゴルフ大会(白水小)
- 十一月二八日(日曜) 午後七時 報恩講夜座・役員会
- 十二月十九日(日曜) 午後六時 光山寺仏壮研修会・忘年会

★仏教婦人会関連

- 九月二五日(土曜) 午前八時 秋季永代経の清掃
- 十一月二六日(金曜) 午前八時半 報恩講の清掃
- 十月十八日(月曜) 十二月二十日(月曜)

★お経の練習会(旧、礼讃の夕べ)

- 午後八時(本堂)

★雅楽練習会

- 午後七時半(庫裡)

★仏教讃歌コーラス練習会

- 毎月第三木曜日(本堂)

※現在 中断中

背負集、お知らせ

今年も別院にて帰敬式

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則として本山でご門主によって執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただきます。(山口別院では、椅子席にて帰敬式を受式できます)



日時は十一月二十五日(木曜日)、午後一時より受付、午後一時半執行。眞加金は成人一万円・未成年五千円を当日持参ください。

申込み方法は、お寺まで氏名・生年月日・住所を必ず十月十五日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が可能です。九月十五日までとなっています。尚、ご本山での帰敬式は従来どおりに毎日2回行われています。

初参式受式しました

親鸞聖人のご誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施しています。しかしながら、昨年・今年と新型コロナウイルス感染症拡大の影響にて婦人会主催の初参式は実施できませんでした。個別の自宅での初参式、またお寺での初参式は実施しておりますので、お申込みください。生後三才くらいまでのお子さんが対象となります。仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう初参の式です。昨今子供への減少が激しいところですが、どうかご親戚等に対象となるお子さんがいらつしやいましたら是非お声かけ、お申し込みください。尚、お子さんのお名前・住所等を光山寺までご連絡ください。



報恩講 夜の座

光山寺の報恩講日程は、今年十一月二十八・二十九日の二日間の予定、朝・昼・夜の合計五座の法座が勤修される予定です。日程の関係上、仕事などで聴聞ができない方々のために、ご講師の宿泊される場合に限って二十八日には夜の座が開かれています。今年の報恩講ではこの夜の座が十一月二十八日午後七時より開かれます。本年のご講師の先生は、子どもにも分かりやすいお話をしていただけるかと思ひます。また、夜の座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜の座が仏教壮年会の研修をかねていますので壮年の方々は万障繰り合わせの上ご参加ください。

高札看板を再設置

参道下の高札には継職法要日程を掲示していましたが、法要が無事に終了した関係から光山寺由来の看板へと変更いたします。元々参道下には江戸時代に萩藩「御制札」があったようです。高札が立派でしたので、再利用となります。



除夜会で富くじ抽選会を開催

大晦日恒例の除夜会では、本年も富くじを実施いたします。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されます。平成二十六年より、鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、富くじ抽選会を実施しています。昨年は、新型コロナウイルスの影響で、三密回避の為、当選者発表は掲示板にて行い、二十人の皆様に景品をお渡ししました。本年もコロナ感染状況によって当選発表方法が変更になる可能性もあります。

冬の児童作品募集

本願寺では毎年一月九日から十六日までの間、親鸞さまのお徳をたたえるとともに、ご苦勞を偲ばせていただく「御正忌報恩講法要」が勤まります。例年、この法要期間中に「全国児童生徒作品展」を開催いたします。私たち一人ひとりが仏さまのみ教えの中で育てられ、生かされている喜びを、作品に表してみましよう。たくさんのお友達をさそって、みなさんの得意な部門に出品してください。

【作文・詩】

テーマ 【課題】

題は自由です。阿弥陀さまや親鸞さまのみ教えを聞いて、生きることのよろこびやいのちの尊さを考えてみましょう。新型コロナウイルス感染症の拡大などによって、生活が大きく変わっています。私たちがともによりよく生きる環境をつくりあげるためにどうしたらよいか、身近な生活や体験を通して感じた人のやさしさ・よろこび・ぬくもりなどを作文にしてみましよう。

幼児規格無し 小学生 B4縦書400字詰原稿用紙二枚以内
中学生 B4縦書400字詰原稿用紙三枚以内

※原稿用紙の1行目に「題」、2行目に「単位名(団体名)」および「学年」、3行目に「氏名・ふりがな」を必ず明記してください。

【絵画】

課題はありませんので自由に描いてください。(A3・A4・B5・版画も可)。四切(38cm×54cm)以内(全学年共通)。名札を作品下部中央につけてください。

【書】

幼児Ⅱひらがなもしくはカタカナ1字で自由に書いてください。

- 小学1年生Ⅱ 「はす」 小学2年生Ⅱ 「ひかり」
- 小学3年生Ⅱ 「友だち」 小学4年生Ⅱ 「安けき国」
- 小学5年生Ⅱ 「西方浄土」 小学6年生Ⅱ 「分陀利華」
- 中学生Ⅱ 「浄土三部経」

※学年・氏名は、自筆で左側に書くこと。ただし、低学年の場合は姓または名前だけでもよい。園児・小学生半紙(タテ33cm×ヨコ24cmに限る)書体は楷書。中学生、画仙紙半切四分の一の大きさ(タテ68cm×ヨコ17.5cm)書体は楷書もしくは行書。名札を作品下部中央につけてください。

表彰 「特選」「入選」「佳作」各学年若干名

出品方法 十月二十五日までに光山寺迄お届けください。作品は返却いたしません。

仏教豆辞典

法螺 「ホラを吹く」といえば、大げさなことを言う、うそをつくという意味に使われていますが、もとは、お釈迦さまの説法のことを指したのですから、不思議ですよ。お釈迦さまの説法は、いろいろな表現で喩えられています。獅子吼は有名ですが「大法螺を吹く」も、その一つなのです。インドでは、戦場でホラ貝を吹き出陣の合図をしました。その音が遠くまで響き、軍勢を勇気づけたのを、仏の説法の喩えとしたようです。それが「お釈迦さまのような偉そうなことを言う」という意味を経て、今のようになったのです。

老婆心

「老婆心ながら」とことわって、一言つけ加えたり、忠告したりする場面に出くわすことがよくあります。言わずもがなでしょうが、とか、おせっかいとは思いますが、という意味なのでしょう。「老婆心」とは(老婆心切)とか(親切心)とかいって、老婆が子供や孫を愛撫し、いつくしむように、師匠が修業者に対して、あたたかく導くこと。その心が深く厚いことを意味する仏教語だったので、それが、度を越して、必要以上に世話をやこうとする気持ち、表わす言葉となっていたようです。

継職法要の会計報告

五月の勤修しました住職継職法要・平成大修復奉告法要では、皆様に大変にお世話になりました。残念ながら参詣できなかった皆様には、当日の様子を録画したDVDを貸し出します。また、頂戴した懇志の会計報告は、十一月の報恩講法要時に予定しています。会計を八月末にて一応の締めとし、残金の管理運営については、実行委員会から護持会に移管します。